

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Will		
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日 ～ 令和8年3月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日 ～ 令和8年3月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な課題を設定する事で、身体機能や発達面に対して、色々な側面からのアプローチを行っている	まずは、児童が楽しむことを前提に集団生活や実生活の中で直結するような課題設定を行っている	エビデンスを持って専門的な課題を取り入れることで、事業所でしかできない課題設定を行っていけるよう取り組んでいく
2	多職種の職員が従事しているので、色々な側面からのアプローチができる	職種ごとの強みを生かすため、職員会議などで意見交換や情報共有を行っている	事業所内・外研修などを行う事で個々の職員の能力を高められるよう対応していく
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員のスキルや経験にばらつきがあるため、統一した療育の質の担保が難しい場面がある	新しく職員採用を行う際に、療育に対する考え方や経験の違いが発生する	職員間でのミーティングを積極的に行う事で、統一した療育ができるよう情報共有や意見交換の場を積極的に設けていく
2	地域連携や保護者連携の場が少ない	マンパワーの問題もあり、場の提供や時間の確保が難しい	職員の能力を高め、対応できる職員を増やすことで、積極的に地域連携や保護者連携を行う場面を作っていく
3			